



国民春闘共闘

2024年度 第12号

2024年3月25日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24 国民春闘共闘賃上げ第2回集計

単純・加重平均ともに 7,000 円台で推移

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は3月21日、第2回目の24春闘賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2024年	2023年同期
回答引き出し組合	563	433
うち 有額回答	322(57.2%)	294(67.9%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	241(42.8%)	139(32.1%)
うち 2次回答以上の回答	41(7.2%)	24(5.5%)
うち 妥結組合	69(12.3%)	46(10.6%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2024年要求	2024年回答	2023年同期	同期比
単純平均	額(円)	30,400	7,787	6,347	+1,440
	率(%)	10.47	2.82	2.36	+0.46
加重平均	額(円)		7,231	5,804	+1,427
	率(%)		2.47	2.02	+0.45
	組合員数		30,378	39,671	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	24年回答	23年実績	実績比
単純平均	額(円)	287	184(64.1%)	155(54.0%)	7,771	6,938	+833
	率(%)	194	115(59.3%)	104(53.6%)	2.83	2.52	+0.31

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	43.5 (31.5)	4,651 (4,538)	39.0 (37.1)	5,495 (4,688)
	率(%)	4.51 (2.93)	3.89 (2.61)	3.97 (2.93)	3.06 (2.54)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

3月21日に第2回目の24春闘賃上げ集計を行い、19単産・部会から報告が寄せられ、563組合が回答を引き出しています。前回調査（3月14日時点：383組合）から180組合増えています。

そのうち、金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得たのは322組合（57.2%）で、前年同時期（2023年3月16日現在）の67.9%を10.7%下回っています。医療、介護、障がい・福祉分野では6月から2.5%のベースアップ分を見込んだ報酬改定が行われますが、「詳細が見えない」といった理由で有額回答を出さない経営や他産業では業界や他社の賃上げ動向の様子見して有額回答を渋る状況も散見されます。

現時点で回答引出し組合の12.3%にあたる69組合が妥結・収拾方向となっています。

回答内容

有額回答を得た組合での単純平均（一組合あたりの平均）は7,787円・2.82%となり、前回調査（3月14日：7,513円・2.73%）から274円・0.09%上がりました。前年同期（2023年3月16日：6,347円・2.36%）を1,440円・0.46%上回っています。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は7,231円・2.47%で、前回調査（7,447円・2.52%）から216円・0.05%下がりましたが、前年同期（5,804円・2.02%）を1,427円・0.45%上回っています。

前年実績と金額で比較可能な287組合の単純平均額を見ると、今期は7,771円で前年実績6,938円を833円上回っています。引上げ率では、194組合の単純平均で2.83%と前年実績比0.31%増となっています。前年実績を超える回答を引き出した組合は前回調査（金額：108組合・51.7%、引き上げ率：68組合・47.9%）から額で2.3%、率で5.7%増え、金額155組合・54%、引き上げ率104組合・53.6%となりました。

JMITUで4次回答（2組合）、3次回答（7組合）を引き出しているのをはじめ、前年同期24組合を上回る41組合が2次回答以上の上積みを獲得しています。

物流の2024年問題への対応を迫る中で建交労・運輸の組合が40,000円の回答を引き出したのをはじめ、6組合（JMITU、出版労連：各2組合、化学一般労連、建交労・社会福祉：各1組合）が2万円台を勝ち取るなど、81組合が5桁回答となっています（前年同期54組合）。

JMITU、化学一般労連といった製造業関係やJMITU通信、民放労連、出版労連などが高水準となっているほか、建交労・運輸、生協労連（卸売・小売）、社会福祉・介護関係でも前年を上回る水準で推移しています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の7単産120組合から前年同期（203件）を上回る276件の獲得報告が寄せられています。

このうち時給制労働者では174件の獲得報告が寄せられ、引き上げ額が判明している143件の平均金額は43.5円となっています。前回調査41.4円から2.4円上がり、前年実績31.5円を12円上回りました。日本医労連の組合ではパート時給310円引上げを引き出しています。

月給制労働者では 46 件の獲得となっており、引き上げ額は 44 件平均 4,651 円と前年実績 4,538 円を僅かに上回るものの、正規雇用労働者の賃上げ水準には及んでいません。しかし、生協労連の組合でフルタイムパートの月給 10,000 円引上げを勝ち取るなどの成果も出ています。

再雇用者の賃上げ状況は、時給制で 30 件、月給制で 25 件の獲得報告となっています。時給制では 30 件平均 39 円、月給制では 23 件平均 5,495 円となっています。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の獲得状況では、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連の 47 組合から獲得報告が寄せられました。

新協定額水準は、時間額で 40 件の単純平均で 1,100 円、日額は 10 件平均 8,988 円、月額は 13 件平均 183,108 円となっています。時間額 1,500 円以上の企業内最低賃金協定締結の報告が 2 件寄せられています。

前年最終集計（2023 年 7 月 6 日現在）の時間額 1,043 円、日額 8,480 円、月額 173,633 円と比べ水準は上がっているものの、要求の時間額 1,500 円以上・月額 225,000 円以上には及ばない状況となっています。

引き上げ額・率は、時間額 52.3 円・5.14%、日額 415 円・6.05%、月額 7,300 円・5.31%となっています。

職種別では、日本医労連から看護師とヘルパーの獲得報告が寄せられています。看護師では単純平均で時間額 1,223 円、日額 8,274 円、月額 207,300 円となっています。

進ちよく状況調査

第 2 回賃上げ集計に合わせて、要求提出状況、ストライキ権の確立・実施状況などについて調査する第 1 回進ちよく状況調査を実施しました。3 月 21 日現在、別表の 17 単産から報告が寄せられています。

調査組合（交渉単位）2569 組合のうち、44.8%にあたる 1152 組合で要求提出が確認できています。そのうち、566 組合・49.1%が回答を引き出し、57 組合・4.9%が妥結・收拾方向となっています。

回答引出し組合のうち、ベースアップを獲得したのは 172 組合で、前年同時期（2023 年 3 月 16 日現在）の 95 組合を上回る報告が寄せられています。

ストライキ権は 1197 組合での確立が確認できており、調査中の建設関連労連を除く 2538 組合に対して 47.2%となっています。

集中回答日翌日 3 月 14 日の全国統一行動日を中心に 119 組合がストライキに立ち上がりました。JMITU では 3 月 7 日の第一次産別ストライキ日に続き、14 日にも第二次産別統一ストライキを配置し、回答の上積みを迫りました。

日本医労連では行動単位換算で 84 組合（交渉単位で 50 組合）が全国でストライキに立ち上がり、200 人が参加する全面ストライキを実施して回答を迫った組合もあります。

郵政ユニオンでは、3 月 15 日に全国 17 郵便局、ゆうちょ銀行 3 職場で 58 名がストライキに突入しました。